

EnSight 補足資料

# ボックスクリップによる データの領域抽出

---

サイバネットシステム株式会社

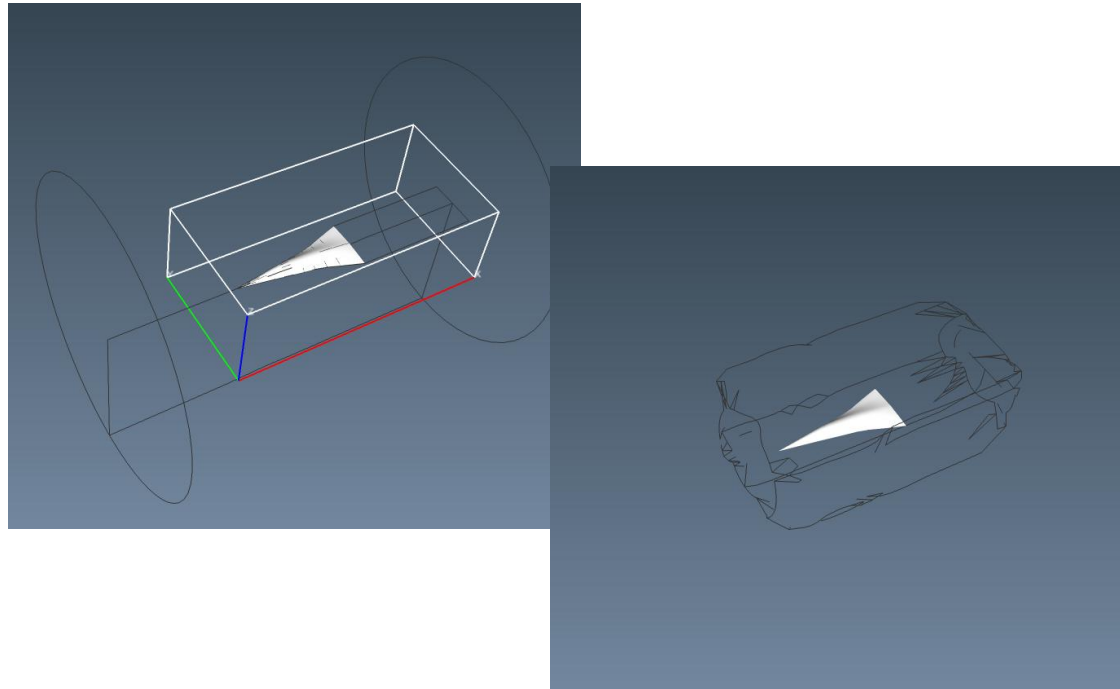
つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

- 1.はじめに
- 2.領域抽出処理
- 3.データの出力

本テキストでは、クリップ機能を利用してボックス型の領域でデータを抽出し、EnSightで処理可能なデータとして出力する手順を説明します。


扱うメッシュが大きくても、注目領域が極一部の場合、指定領域をデータとして抽出することで、処理負荷を大幅に軽減することが可能になります。

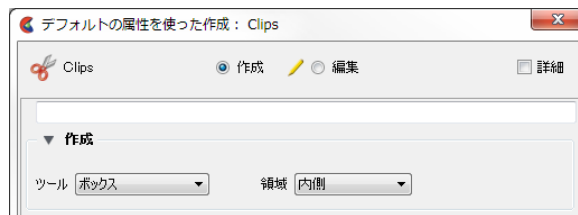


- 1.はじめに
- 2.領域抽出処理
- 3.データの出力

ボックスクリップによって指定された領域の抽出処理を行います。

## 1. クリップ機能パネルの表示とオプションの選択

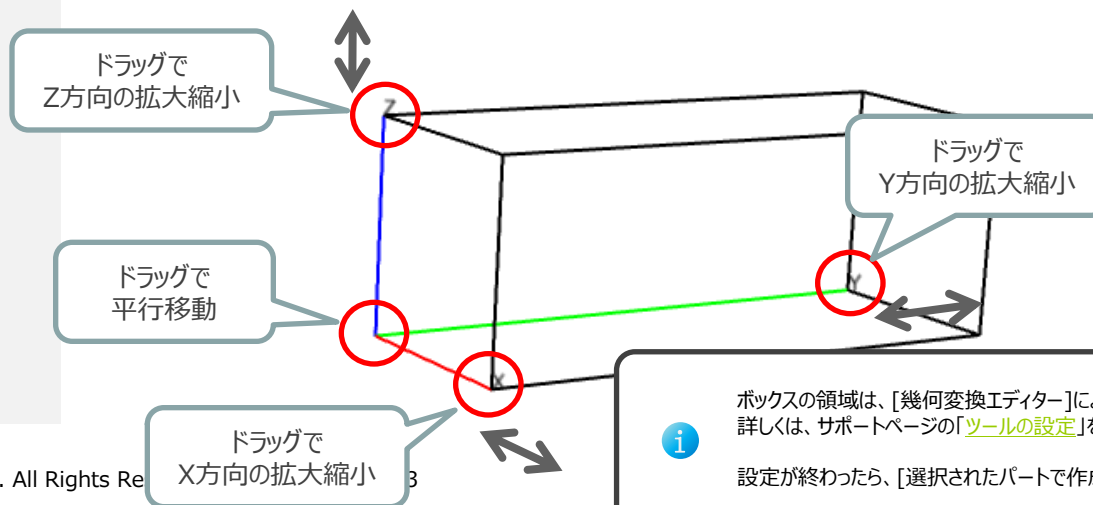
抽出元のパートを選択してから、クリップ機能アイコンをクリックしてパネルを表示します。



ツールでボックスを選択すると、画面上に下図のようなボックスツールが表示されます。

## 2. ボックスによる抽出領域の設定

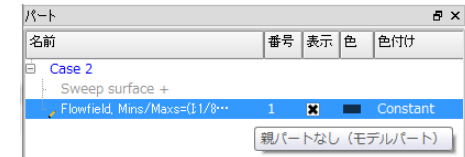
ボックスの位置、サイズを変更することで抽出する領域を指定します。



- 1.はじめに
- 2.領域抽出処理
- 3.データの出力

データ出力機能により、抽出領域をEnSight Case Goldフォーマットで出力します。

1. パートの選択  
出力対象の部分を全て選択します。



2. 変数のアクティブ化  
[変数]リストにて出力対象の変数を全てアクティブ化します。



3. 出力処理  
[ファイル] → [出力] → [幾何学的情報]を選択し、パネルでフォーマット、ファイル名の指定等の出力操作を行います。



ご利用上の注意：

本書中の解説、及び、図、表は文書による許可なしに、その全体または一部を無断で使用、複製することはできません。

このドキュメントに記載されている事柄は、将来予告無しに変更される事があります。なお、サイバネットでは記載内容に関して正確であることに努めていますが、本書の利用に関して生じた損害については法律上のいかなる責任も負いません。

EnSight は米国 CEI 社の商標です。  
上記以外の製品名も一般に開発各社の商標、あるいは登録商標です。

サイバネットシステム株式会社